



2024 年度 SP+ Fund 報告書 (General)

Project Report: SP+ Fund 2024 (General Program)

プロジェクトの基本情報／Key Project Information	
課題名 (英語) Project name (in English)	Comparative study of human remains from Europe and Levant
期間／Period	From 2024/07/01 Until 2025/03/15
主な研究分野 Main research fields	自然人類学
活動内容 (該当するものに全て ✓してください。) Activities to be funded (check ✓ all applicable items)	☐ 研究ワークショップ、会議、ラウンドテーブル、シンポジウム等の 実施／Research workshops, conferences, roundtables, symposiums, etc. ☒ 共同研究や研究打合せにかかる渡航・招へい Travel/invitations for collaborative research or research meetings ☐ その他 (具体的に)／Other (please specify) ()
区分／Type of collaboration	☒ Bilateral ※本学と SP 校との 2 機関で実施するプロジェクト (Project conducted by Kyoto University and one SP institution) ☐ Multilateral ※本学と SP 校に加え、さらに 1 機関以上 (Project conducted by Kyoto University, an SP institution, and one or more additional institutions)
実施場所／Location of implementation	☐ 京都大学／Kyoto University ☒ その他／Other location (University of Bordeaux)

申請者 (京都大学)／Applicant (Kyoto University)	
姓／Family name	森本
名／Given name	直記
職名／Position	准教授
所属部局 Faculty/dept. of affiliation	理学研究科

SP 校のプロジェクト代表者／Representative from SP institution	
姓／Family name	Zanolli
名／Given name	Clément
職名／Position	Researcher
所属大学／ Institution	☒ ボルドー大学／University of Bordeaux ☐ ウィーン大学／University of Vienna

SP 校のプロジェクト代表者／Representative from SP institution

所属部局	Archaeological sciences
Faculty/dept. of affiliation	

その他のプロジェクト代表者 (Multi の場合) / Representative from other collaborating institution (in the case of multilateral projects) ※

姓／Family name名 / Given name職名／Position

所属大学／
Institution

☐ ボルドー大学／University of Bordeaux
☐ ウィーン大学／University of Vienna
☐ チューリヒ大学／University of Zurich
☐ ハンブルク大学／University of Hamburg
☐ 国立台湾大学／National Taiwan University
☐ その他／Other

(機関名／name of institution:

所属部局Faculty/dept. of affiliation

If the project involves four or more institutions, please insert additional fields as required.

プロジェクトの実施内容／Summary of the project

公開されている関連リンクや、フライヤー、プログラム、報告書、広報記事等の提出をもってして代えることも可能です。 This could be substituted by submitting publicly available relevant links, flyers, programs, reports, publicity articles, etc.

本学側から申請者、若手研究者、研究協力者がフランスに渡航した。フィールド調査としては、ボルドー側研究者とともに、人類（ホモ・サピエンスとネアンデルタール人）の遺跡を訪問し、洞窟・岩陰における遺物の出土状況、周辺地形との関係を視察した。中には、一般には公開されていない遺跡（ネアンデルタール人）を、本プログラムのため特別の許可のもと視察させてくれた例もあった。また、遺跡に付随する博物館を訪問した。標本を閲覧し、現地研究者と交流した。

さらに、ボルドー大学にてフランスの化石・石器資料、写真、化石の3次元データを元に、申請者が進めているトルコ共和国での発掘調査と今後の共同研究に関する綿密な打ち合わせを対面で行った。また、ボルドー側研究者の所属機関の他研究者とも交流し、今後の共同研究の可能性を探った。

今後の展望／Prospects for future research collaboration

相手方の研究フィールドに飛び込み、同じ空間・時間を共有することで、より強固な信頼・協力関係を築くことができた。今後の展望について主に4つの成果が得られた。

1. 申請者の進めているトルコでの発掘調査に関する論文を共著で執筆していく。
2. 新たなフィールドとして、モロッコで発掘調査を計画する。
3. 継続的な共同研究のため、ボルドー大学でセミナーを行う。
4. 本プログラムにより渡航した若手研究者の人的ネットワーク形成に大いに寄与した。

時間的制約のため視察できなかった遺跡もあり今後の課題は残ったが、新たな共同研究に関して直接顔を合わせて具体的なディスカッションを行えたのは、大きな成果であったと考えている。